

【史料を使った問題】（難易度：やや難）

- A 次の演説は、前443年～前429年の間アテネの将軍であった人物が行ったものである。
よく読んで、後の問いに答えなさい。

「われらの政体は①他国の制度を追従するものではない。ひとの理想を追うのではなく、ひとをしてわが範を習わしめるものである。②その名は、少数者の独占を排し多数者の公平を守ることを旨として、民主政治と呼ばれる。わが国においては、個人間に紛争が生ずれば、法律の定めによってすべての人に平等な発言が認められる。③だが一個人が才能の秀でていることが世にわかれば、無差別なる平等の理を排し世人の認めるその人の能力に応じて、公けの高い地位を授けられる。またたとえ④貧窮に身を起そうとも、ポリスに益をなす力をもつ人ならば、貧しさゆえに道をとどされることはない。われらはあくまでも自由に公けにつくす道を持ち、また日々互いに猜疑の眼を恐れることなく⑤自由な生活を享受している。

トゥキディデス『歴史』

- 問1 この演説を行った人物を答えなさい。
- 問2 下線部①に関連して、スパルタの軍国主義・鎖国的諸制度を制定したとされる人物を選びなさい。
ア フェイディアス イ ピタゴラス ウ ヘロドトス エ リュクルゴス
- 問3 下線部②について、アテネの民主政について述べた次のA～Dの文を読んで、下の(i)～(iii)に答えなさい。
- A (a) 僭主になるおそれのある人物の名前を書いて投票させる制度により、民主政治への道がひらかれた。
- B 貴族と平民の争いが調停され、(b) 土地など資産に応じ、市民の参政権の程度が定められた。また、債務奴隷が禁止された。
- C 平民の支持をえて貴族の政権を倒し、(c) 非合法に独裁権をにぎる人物の政治は、一般的に専制的で、その支配は永続しなかった。しかし中小農民を保護し、文化を奨励した者もいた。
- D 貴族による法独占が廃止され、法による秩序の維持が図られた。
- (i) 上文のA～Dに関連が最も深い人名を選びなさい。
ア プラトン イ テミストクレス ウ ペイシストラトス エ ソロン
オ ホメロス カ ドラコン キ ヘシオドス ク クレイステネス
- (ii) 各文を年代の古いものから順に並べなさい。
- (iii) 文中の波線部(a)～(c)について、下の間に答えなさい。
(a) この制度を何と呼びますか。
(b) このような政治を何と呼びますか。
(c) このような政治を何と呼びますか。
- 問4 下線部③の「無差別なる平等の理」について述べた文のうち、正しいものを選びなさい。
ア 奴隷でも債務奴隷であれば、選挙で民会の構成員となれた。
イ ほとんどすべての官職や裁判の陪審員が市民に開放されて、抽選で選ばれた。
ウ 参政権はすべての成年男女市民に開放された。
エ 外国人も10年間アテネに居住すればアテネ市民権を獲得し、将軍になることができた。

問5 下線部④に関連して、サラミスの海戦で活躍した無産市民は、その後政治に参加できるようになった。どのようにサラミスの海戦で活躍したかを答えなさい。

問6 下線部⑤に関連して、アテネの市民が自由を享受できる基盤には、奴隷の存在があり、前5世紀のアテネでは奴隷が数多く所有されていた。奴隷に関連して述べた次の文のうち正しいものを選びなさい。

- ア 前5世紀のアテネでは、奴隷が人口の3分の2以上を占めていた。
- イ 奴隷として売買されたものは、戦争の捕虜、債務奴隷などであった。
- ウ アテネでは大所領での農牧や果樹栽培に奴隷が大規模に使用された。
- エ アテネの奴隷は剣奴として養成された。

問1、問3設問Ⅱ、設問Ⅲabc、問5各2点=12点

その他

1点×8=8点

計 20点

問1	問2	問3							
		i							
ペリクレス	エ	a	ク	b	エ	c	ウ	d	カ
問3									
ii		iii							
D→B→C→A	a	オストラシズム(陶片追放)		b	財産政治		c	僭主政治	
問4	問5								問6
イ	軍船の漕ぎ手として活躍した								イ

B 次の演説は前63年に元老院で行なわれたキケロの演説である。この演説でキケロは、スラの配下

の武将であったカティリーナを弾劾している。よく読んで、後の問いに答えなさい。

「①カティリーナよ、②お前が死の淵に追いやられることは③執政官の命令によって兼ねてより決まっていたことだ。これまでお前が我々全員に対して謀ってきたところの破滅が、お前にもたらされるのだ。実際、きわめて偉大な男④プブリウス・スキピオ（大スキピオ）、かの神祇官長官は、国家の土台を僅かに揺るがす者として⑤ティベリウス・グラックスを私人として殺めたというのに、我々は執政官でありながら全世界を殺戮と大火によって壊滅せんとするカティリーナを見過してよいのだろうか。」

.....

「対⑥ローマ市民陣営がイタリア内に、⑦の山岳路に張られている。敵の数も日に日に増えている。その陣営の指揮者であり敵の統率者をあなた方は市壁内部で、しかも⑧元老院の中で見ている。国家の内部崩壊を日々企んでいる男をである。」

.....

「ともあれ、昨夜お前はラエカの所にいたのである、カティリーナ、お前はイタリアの諸地域を割り振り、各々どこに発つのが相応しいか取り決め、ローマに残す者と、一緒に連れてゆく者を選出し放火のために街区を振り分け、お前自身もすぐに出て行くことを請け合い、私が生きているからまだ少し時間が掛かるのだとお前は言ったのである。このような心配からお前を解放する2人の⑨ローマ騎士が探し出され、彼らは夜明けの少し前に⑩私を寢床で殺すことを確約したのである。」

キケロ『カティリーナ弾劾演説』

問1 下線部①の人物が仕えたスラに関して述べた次の文章のうち、正しいものを選びなさい。

- ア 閥族派の政治家で平民派を弾圧した。
- イ スパルタクスの反乱を鎮圧した。
- ウ クラッスと共に第一回三頭政治を始めた。
- エ アクティウムの海戦でアントニウスに勝利した。

問2 下線部②に関連して、執政官の決定による死刑宣告は無効だとして、キケロと対立していた平民派の政治家を選びなさい。

- ア オクタウィアヌス
- イ カエサル
- ウ トラヤヌス
- エ タキトゥス

問3 下線部③に関して、執政官二名うち、一名を平民から選出することや大土地占有の制限を規定した法律は何ですか。

問4 下線部④の人物に関する次の文章のうち正しいものを選びなさい。

- ア ザマの戦いでカルタゴに勝利した。
- イ ドミナトゥス（専制君主政）を開始した。
- ウ ポンペイウスと対立し打倒した。
- エ ミラノ勅令でキリスト教を公認した。

問5 下線部⑤の人物に関する次の文章のうち誤っているものを選びなさい。

- ア 弟のガイウス＝グラックスが改革を引き継いだ。
- イ 自作農の創設を企てた。
- ウ ローマ市民軍の再建をめざした。
- エ 元老院と協力して政治改革をすすめた。

問6 下線部⑥に関連して、ローマ市民権を、ローマ帝国領内の全自由民に拡大した人物を選びなさい。

ア テオドシウス　イ カラカラ　ウ ウァレリアヌス　エ コンスタンティヌス

問7 空欄⑦には、前7世紀に都市国家ローマを支配していた民族名が入る。その民族名を選びなさい。

ア ペルシア　イ イオニア　ウ アラム　エ エトルリア

問8 下線部⑧について、誤っているものを選びなさい。

ア 最高の立法・諮問機関であった。

イ 構成員の任期は一年であった。

ウ 執政官のうち一名を独裁官に任命した。

エ 貴族が当初の構成員であった。

問9 下線部⑨について、騎士階級とも呼ばれる階層は、属州の徴税請負などで台頭した。

この騎士階級を何とよびますか。

ア ディクタトル　イ プリンケプス　ウ エクイテス　エ コロヌス

問10 下線部⑩の私とはキケロのことである。彼の著作を選びなさい。

ア 『アエネイス』　イ 『国家論』　ウ 『ローマ建国史』　エ 『対比列伝』

2点×10=20点

問1	問2	問3		問4	問5	問6
ア	イ	リキニウス・セクステウス法		ア	エ	イ
問7	問8	問9	問10			
エ	イ	ウ	イ			